

「未来を担う子供のためにNEXT GIGAを考える」 第7回日本ICT教育アワード、全国ICT教育首長サミット開催！！ 全国より300名超が参加

2025年1月17日(金) 全国ICT教育首長協議会主催による「第7回日本ICT教育アワード表彰式」および「全国ICT教育首長サミット」を開催いたしました。本協議会は、2025年1月現在で、約130自治体の首長から賛同いただき未来に羽ばたく子供たちのためにICT教育を推進する活動を行っております。これまで、小中学生1人1台端末の整備等を大臣に提言するなどして、GIGAスクール構想実現の一翼を担ってまいりました。この度、全国よりICT教育を推進する首長が集い、「未来を担う子供のためにNEXT GIGAを考える」サミットを開催いたしました。来賓として、文部科学大臣政務官 金城 泰邦 様、総務大臣政務官 川崎 秀人 様、経済産業副大臣 古賀 友一郎 様、デジタル副大臣 穂坂 泰 様をお招きし盛大に開催いたしました。



文部科学大臣政務官
金城 泰邦 様



総務大臣政務官
川崎 秀人 様



経済産業副大臣
古賀 友一郎 様



デジタル副大臣
穂坂 泰 様



全国ICT教育首長
協議会会長横尾俊彦



アワード審査委員長
大久保 昇 様

【主催者あいさつ】横尾俊彦(多久市長)

全国ICT教育首長協議会は、平成28年、日本の教育にICTを活用して、子供たちの未来の可能性を伸ばすことを考えた首長が集まり始めました。現在、約130自治体が加盟しており、1人1台端末整備を提言しGIGAスクール実現を後押ししてまいりました。私は以前より、ICTとは「I Create Tomorrow 僕が私が未来を創る」子供たちが、ワクワクした学習をし、様々な分野に可能性を伸ばしていくことだと提言してきました。今年は、多くの自治体で、GIGA第2期の端末更新時期となります。これを実現するために、自治体が端末の整備と活用が重要になってきます。ぜひ、未来を担う子供たちのために力を合わせてがんばっていきましょう。

<報道関係者様からのお問合せ先> 「全国ICT教育首長協議会」事務局
東京都港区虎ノ門3-10-11 虎ノ門PFビル (一財) 日本視聴覚教育協会内 TEL: 03-3431-2186

第7回日本ICT教育アワード表彰式

【文部科学大臣賞】

愛知県春日井市 「自ら学び続ける
教師&働き方改革～『受ける』だけの
研修は物足りない。これからは『体験
×活かす』研修～」



【総務大臣賞】

茨城県つくば市 「未来を切り拓く
力を育むつくば教育DX」



【経済産業大臣賞】

富山県朝日町 「『生成AIを活用し
た情報活用能力の育成』～産・
官・学の連携による教育DXの推進
～」



【デジタル大臣賞】

大阪府枚方市 「円滑な1人1台更
新に向けた取組～子ども、保護者、教
職員、民間、専門家の意見から必要
な機器等を考える～」



【全国ICT教育首長協議会会長賞】

岐阜県恵那市
愛媛県四国中央市
鹿児島県垂水市



【日本視聴覚教育協会会長賞】

鹿児島県鹿児島市



【日本ICT教育アワード審査委員会 特別賞】

東京都渋谷区
長崎県西海市



【全国ICT教育首長協議会優秀賞】

埼玉県久喜市・岐阜県岐阜市・島根
県美郷町



【審査講評】

今回は、新たな大臣賞として、デジタル大臣賞を創設した。全国67自治体から応募があり、ICT教育の特色を聞いた項目では、全教室大型提示装置導入46%、校務支援ソフトの活用46%、クラウド活用44%、個別最適化学習41%、プログラミング学習35%など、以前上位になかった項目があげられている。年々、レベルが高くなっており、GIGA端末活用が進んでいることがわかる。大臣賞を惜しくも受賞できなかった自治体や入賞できなかった自治体は、あきらめずに来年度もぜひ応募していただきたい。



受賞自治体記念撮影のようす



300名を超える参加者での文科省寺島課長講演



受賞自治体によるICT教育首長サミット



首長、教育長が見学した40もの企業展示ブース



石川県応援ブースを見学する自治体の皆様